



# RED BULL MEDIA HOUSE、 卓越したストーリーテリングの ために AMD を活用

## お客様



### RED BULL MEDIA HOUSE NORTH AMERICA が 必要とするもの

- リモートコラボレーション用 OS
- 優れたコストパフォーマンス比
- インストールのしやすさ
- 維持のしやすさ

コンテンツ制作を強力にサポートするためのすべての条件を満たすのは、AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 5000 WX シリーズ プロセッサです。

### AMD THREADRIPPER™ プロセッサによる リッピング

AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO プロセッサは、マルチスレッドシミュレーションやレンダリング用に最大 64 コアを提供し、負荷の軽いスレッド作業用に高周波数コアも備えています。

このプロセッサは、最も要求の厳しい VFX プロジェクトを迅速に処理するのに役立ちます。

<https://www.amd.com/en/processors/workstation-media-entertainment>

AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO 5995WX プロセッサを活用することで、アーティストはビデオ編集、色補正、ビジュアルエフェクト、モーショングラフィックスを競合製品のワークステーションプロセッサよりも最大 32% 高速に、前世代の AMD Threadripper™ PRO プロセッサよりも最大 3% 高速に処理できます<sup>2</sup>。

<https://www.amd.com/system/files/documents/threadripper-pro-davinci-resolve-solution-guide.pdf>

<https://www.amd.com/en/processors/workstation-media-entertainment>

Red Bull は、世界トップクラスのアスリートたちと彼らの超人的な偉業を紹介することで知られています。オーストリアのエナジー ドリンク メーカーである Red Bull と、特別なイベントを映像に収めている Red Bull Media House (Red Bull の関連会社であり、受賞歴のある小規模な映像制作会社) は、そのような偉業に毎日のように関わっています。

Red Bull Media House North America のポストプロダクション、エンジニアリング、テクノロジー部門のディレクターである Stefan Knerrich Rubin 氏は、このような一生に一度のイベントのコンテンツ制作プロセスについて語ってくれました。「課題となる部分はどんな場合も同じです」と彼は言います。「地球上で最も隔離された場所にいるアスリート。サンフランシスコ湾にかかる橋の上を走る F1 カー。成層圏から飛び降りるスカイダイバー。それらを可能な限り多くのアングルから撮影する必要があります。なぜなら、そんなチャンスは一度しかありませんから」



ジャンプを目前に控えた Felix Baumgartner 氏

### 記録と障壁を打ち破る

Knerrich Rubin 氏は、800 万人のオンライン視聴者と一緒に、Felix Baumgartner 氏が宇宙から 39.96 km のフリーフォールに挑戦する瞬間を目撃しました。Baumgartner 氏は、航空機を使わずに音速の壁を破ることに成功した初めての人間となり、マッハ 1.25 (時速 1,358 km) に到達するまでに要した時間はわずか 34 秒でした。Red Bull Stratos は音速の壁を破っただけでなく、他にもいくつかの記録を破りました。それは、最高高度からのジャンプ、最高高度の有人気球飛行、YouTube ライブストリームの最多視聴者数です。「Google は、YouTube がクラッシュするのではないかとひやひやしていました」と Knerrich Rubin 氏は振り返ります。「それほど高い数字だったので」

文字通り "別世界" のジャンプを捉えることは、非常に難度の高い取り組みでした。「30 台以上のビデオカメラを用意し、その多くは 4 時間半の間、連続して稼働していました。どれだけの量の映像素材が蓄積されたか想像できるでしょう」と Knerrich Rubin 氏は振り返ります。入念な計画、パワフルな技術インフラ、高速な処理速度が成功の鍵でした。「それ以来、もちろんテクノロジーは飛躍的に進歩しました。あの頃にも、現在のような機材があれば最高だったでしょうね」



北米にある Red Bull Media House の PC フリート



Red Bull Stratos のメディア コントロールルーム

## スピードが重要

今でも、同社のプロジェクトがセンセーショナルであることに変わりはなく、制作ペースはより加速しています。北米のポストプロダクションチームは、サンタモニカに拠点を置き、常時 10 ~ 15 のプロジェクトをこなしています。"早ければ早いほどいい、明日より昨日がいい"が彼らのモットーです。短納期は日常茶飯事で、彼らが手がけたプロジェクトは、イベント終了後数時間以内に投稿されることも珍しくありません。

さらに問題を厄介にしているのは、編集者がアメリカ国内外に散らばっていること。クリエイティブチームの中にはイギリス、フランス、ブラジルで仕事をしている者もいます。「特に新型コロナウイルスが原因で、高いパフォーマンスを発揮すると共に集中管理されたハードウェアと共有ストレージでリモート作業ができるソリューションを、早い段階から探していました。それで、リモートゲームの世界で生まれたソリューションを使うことにしたのです」と Knerrich Rubin 氏は説明します。彼はまた、仕事を適切にこなすために AMD Ryzen™ Threadripper™ PRO プロセッサを頼りにしています。リモートシステムに最適であり、膨大な量のビデオ映像を迅速に処理できるからです。

## パワフルなパフォーマンス、多彩なアプリケーション

Red Bull Symphonic シリーズのためにロサンゼルスで実施された、ヒップホップ界の超大物プロデューサー、Metro Boomin 氏とシンフォニーオーケストラのライブパフォーマンスの撮影および編集は、サンタモニカのシステムが高いパフォーマンスを発揮できることを示す典型例となりました。翌日からの編集開始に向けて、Ultra HD のソース映像を 15 台のハイエンドデジタルシネマカメラから一晩で取り込み、準備する作業は、その後の迅速な編集作業と同様、迅速かつ効率的に実行されました。「AMD Threadripper™ CPU は、スピード、パフォーマンス、柔軟性を備え、インストールも簡単です。コストパフォーマンス比も申し分ありません」と

Knerrich Rubin 氏は言います。Threadripper™ PRO 5000 WX シリーズプロセッサは、Adobe から VIZRT まで、多彩なワークステーションおよびすべての主要プロフェッショナルアプリケーション向けに設計されています。サンタモニカでは、40 台を超える編集 / 制作システムが AMD の最もパワフルな CPU で稼働しています。

北米の Red Bull Media House のエディター向けには、PRO 16 コアのソリューション、グラフィックスチーム向けには 32 コアのソリューションが採用されています。「編集では、インジェストと編集の前準備、カラーグレーディング、レイアウトに、あらゆる業界標準のノンリニア編集アプリケーションと VFX プラグインを使用しています」と Knerrich Rubin 氏は説明します。これらのアプリケーションはすべて、AMD Threadripper™ PRO プロセッサの 8 つのメモリチャネルによって実現される、合理化されたポストプロダクションワークフローに依存しています。「私にとって重要だったのは、性能とモデルが適合していること、そしてアップグレードが可能であることです」

## コンテンツ制作の実力者

Red Bull Media House は、世界中でコンテンツ制作に携わっています。年間、2 万以上のメディアアセット向けに、約 15 万分のビデオコンテンツを制作しています。200 以上の分野で 850 人以上の著名人、世界 175 か国で 1,500 以上のイベントを取り上げてきました。そして、このストーリーテリングに欠かせないのが、AMD の技術です。

壮大なスタントを収めた 2 分間のショートフィルムから、感動的な肖像画を描く長編ドキュメンタリー映画まで、受賞したコンテンツはすべて、アスリートやアーティストがビジョンやアイデアを追求する姿を紹介するという Red Bull Media House チームの使命を支える適切なツールを必要としています。

### AMD について

AMD は 50 年以上にわたり、ハイパフォーマンスコンピューティング、グラフィックス、視覚化テクノロジーの革新を推進してきました。世界中の何十億もの人々、フォーチュン 500 のトップ企業、最先端の科学研究機関は、生活、仕事、遊びを向上させるために、日常的に AMD のテクノロジーを活用しています。AMD の従業員は、ハイパフォーマンスで適応性に優れたプロダクトの開発に日々取り組み、限界に挑戦しています。AMD は現在を見据えながら、未来を形成しています。詳細については、AMD (NASDAQ: AMD) のウェブサイト、ブログ、LinkedIn、および Twitter ページをご覧ください。